

# 教 育 委 員 会 会 議 録

令和7年12月19日（金） 午前10時00分 開会  
午前10時36分 閉会

## 1 議事日程

別紙のとおり

## 2 出席した委員等

川原馨教育長、野杵晃充委員、内田智子委員、片山裕之委員、田村太一委員

## 3 出席した職員

坂川智事務局長、高木健一次長兼管理部長、橋本具征教育部長、佐藤孝教育改革監  
渡部純次総合教育センター所長、大谷健二総務課長、中野幸治財務施設課長  
鈴木光晴教職員課長、清貴康福利課長、長坂昌彦あいちの学び推進課長  
加納澄江高等学校教育課長、尾本国博義務教育課長、伊藤徹特別支援教育課長  
祖父江達夫保健体育課長、松本明博ICT教育推進課長、木全貴治中高一貫教育室長  
川田敦行総務課担当課長、所仁総務課担当課長  
稲垣正博あいちの学び推進課担当課長、前田憲一高等学校教育課担当課長  
塚田祐介総務課課長補佐

## 4 前回会議録の承認

川原教育長が各委員に諮り、前回の会議録は承認された。

## 5 教育長報告

川原教育長が各委員に諮り、報告事項（４）公立学校教員の懲戒処分について、及び  
（５）公立学校長の人事については、人事案件であるため、非公開にて報告を受けるこ  
ととした。

### （１） 令和7年度教育委員会所管12月補正予算について

大谷総務課長が、令和7年度教育委員会所管12月補正予算について報告。  
川原教育長が各委員に諮り、報告事項は了承された。

### （２） 愛知県教育委員会教育長給与条例の一部改正について

大谷総務課長が、愛知県教育委員会教育長給与条例の一部改正について報告。  
川原教育長が各委員に諮り、報告事項は了承された。

### （３） 令和7年12月定例県議会の概要について

大谷総務課長が、令和7年12月定例県議会の概要について報告。  
川原教育長が各委員に諮り、報告事項は了承された。

### （４） 公立学校教員の懲戒処分について

非公開において報告されたため、愛知県教育委員会会議規則第14条第3項の規

定により、会議録は別途作成。

(5) 公立学校長の人事について

非公開において報告されたため、愛知県教育委員会会議規則第14条第3項の規定により、会議録は別途作成。

6 請願

請願第13号 差別を許さない愛知の学校づくりを求める請願

川原教育長が各委員に諮り、「賛成者なし」により本請願は不採択とされた。

〔委員の主な意見及び事務局の説明〕

(野杵委員)

県教育委員会は差別的言動を行った人が教育活動に関わるることについて、どのように考えているか。また、当該校ではどのような対応が行われたのか。

(加納高等学校教育課長)

差別的言動は決して許容されるものではないが、差別的な言動を行った人の教育活動への関与については、その後の反省や改善の取組を含め、事案ごとに判断を行うことが重要と考えている。

本事案では、学校が依頼した芸能事務所から提案された芸能人には過去に問題発言があったことが分かったため、校長は芸能事務所に直接連絡し、確認した。芸能事務所からは、問題発言について芸能事務所が本人を指導し、反省していること、現在では広く活動を行っているが同様の事案は発生していないことを確認した。また、芸能事務所は所属する社員並びに芸能人に対し、継続的にコンプライアンス研修を行い、指導監督していることも確認した。

さらに、校長は保護者会役員や生徒会に当該芸能人の発言とその後の状況を説明した上で同意を得るとともに、スクールロイヤーに助言を求め、当該芸能人を招くことが問題ないという判断に至り、学校行事を実施することとした。なお、当日の学校祭の舞台でも問題となる発言はなく、大きな混乱はなかった。

(野杵委員)

学校は外部人材を招いて教育活動を行う場合、外部人材の経歴等について、確認は行わないのか。

(加納高等学校教育課長)

学校は外部人材を招く際、所属団体や経歴、資格、過去の活動実績などの確認を行っている。

今後も県教育委員会としては、人権に配慮した教育活動が行われるよう、県立学校の校長が集まる会議や、市町村教育委員会の担当者が集まる会議等で指導していく。

請願第14号 学校、県教委において、保護者等からの相談について、「カスハラ」要求

としないうための、実態調査、これまでの記録の分析、検証、今後の対応に向けて等を求める請願

川原教育長が各委員に諮り、「賛成者なし」により本請願は不採択とされた。

〔委員の主な意見及び事務局の説明〕

(内田委員)

学校におけるカスタマーハラスメントについて、県教育委員会としての実態把握や対応等はどのように行っているか。

(鈴木教職員課長)

令和7年7月11日に愛知県カスタマーハラスメント防止条例が制定されたことを受け、県教育委員会では「愛知県立学校カスタマーハラスメント対策等に関する要綱」を定め、条例施行日である令和7年10月1日から適用している。この要綱では職員、校長、教育委員会の責務や、各学校にカスタマーハラスメント対策責任者を置くこと等を定めている。その他、カスタマーハラスメントによる被害防止や、対策として実施すべき事項、良好な職場環境の確保のために認識すべき事項等については指針に示し、学校や県教委ができる対応についても触れているところである。

なお、職員がカスタマーハラスメントを受けた場合、校長がその事実を他の所属に周知等する必要があると認める場合には、県教育委員会に報告書を提出するよう定めており、実情や実態を把握した上で、関係各課等と連携を図り問題解決に当たるための体制を整えている。

(内田委員)

過剰な保護者対応等によって教員の時間外勤務が増えてしまうことについて、県教育委員会としてどのように対応していくのか。

(鈴木教職員課長)

文部科学省からは、サービスを監督する教育委員会が教職員の健康及び福祉の確保を図るために講ずべき内容として「学校と教師の業務の3分類」が示されており、1つ目は学校以外が担うべき業務、2つ目は教師以外が積極的に参画すべき業務、3つ目は教師の業務だが負担軽減を促進すべき業務である。この3分類の中で「保護者からの過剰な苦情や不当な要求等の学校では対応が困難な事案への対応」については、1つ目の「学校以外が担うべき業務」として位置づけられている。

本県で定めている公立学校働き方改革ロードマップにおいては、教職員の働き方改革に向けた取組の一つに「外部人材の活用」としてスクールロイヤー等の配置を挙げっており、過剰な要求をする保護者対応等への負担軽減を図っていきたいと考えている。

## 7 議案

川原教育長が各委員に諮り、第37号議案 公立学校長の人事については、人事案件のため、非公開において審議することとした。

第37号議案 公立学校長の人事について

非公開において審議されたため、愛知県教育委員会会議規則第14条第3項の規定により、会議録は別途作成。

第38号議案 「あいちの教育ビジョン2030 –第五次愛知県教育振興基本計画–」について

長坂あいちの学び推進課長が、「あいちの教育ビジョン2030 –第五次愛知県教育振興基本計画–」について請議。

川原教育長が各委員に諮り、全員一致により原案どおり可決された。

〔委員の主な意見及び事務局の説明〕

（片山委員）

あいちの教育ビジョン2030は基本施策が18項目となり、前回の2025と比べると内容が絞られ、実効性のあるものになったと思う。今回の計画の策定にあたり、県内の子供たちの意見をたくさん聞いて策定されたことは大変素晴らしいことである。最近の時代の進み方は、1年ごとにいろいろな変化があり、5年後がはっきり分からない時代になっている。来年度以降の毎年の進捗状況のチェックのなかで、子供たちの意見をベースにして施策に反映したものは、どれだけ実効化しているかという観点で計画を見直すとより実効性のあるものになると思う。

第39号議案 愛知県立高等学校学則の一部改正について

長坂あいちの学び推進課長が、愛知県立高等学校学則の一部改正について請議。

川原教育長が各委員に諮り、全員一致により原案どおり可決された。

第40号議案 愛知県立高等学校の通学区域並びに群及びグループに関する規則の一部改正について

加納高等学校教育課長が、愛知県立高等学校の通学区域並びに群及びグループに関する規則の一部改正について請議。

川原教育長が各委員に諮り、全員一致により原案どおり可決された。

8 協議題

なし

9 その他

なし

10 特記事項

（1） 川原教育長が今回の会議録署名人として片山委員を指名した。

（2） 請願第14号「学校、県教委において、保護者等からの相談について、「カスハラ」要求としないための、実態調査、これまでの記録の分析、検証、今後の対応に向けて等を求める請願」について、請願者から口頭陳述したい旨の申し出があり、川原教育長が前回会議録の承認後、5分以内に限り口頭陳述することを許可した。

（3） 傍聴人 2名